



園地の病害虫の発生状況をよく確認し、適切な防除を行ないましょう。また、薬剤は丁寧にたっぷりと散布しましょう。

病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

●9月上旬の散布(着色開始期前:9/1~7)

散 布 薬 剤	水	100ℓ	散布量	ℓ
	展着剤	10mℓ		
	キノドー顆粒水和剤	100g(収穫14日前、5回以内)		
	劇モスピラン顆粒水溶剤	25g(前日、3回以内)		
対象病害虫	炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、カキノヒメヨコバイ、カキノヘタムシガ、カメムシ類、カイガラムシ類			
散 布 量	10a当り500ℓ ＊若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する			
備 考	●アメリカシロヒトリの発生園は、アディオン水和剤 3,000 倍(7 日前、5 回)を加用する。 ●モスピラン顆粒水溶剤は劇物登録農薬です。 農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際は、印鑑をご持参ください。			

●特別散布

散布時期	10 月上中旬	(水 100ℓあたり)	散布日 10月 日 散布量 ℓ
散布農薬	展着剤	10 mℓ	
	トップジン M 水和剤	100g (前日 6 回)	
対象病害虫	うどんこ病 炭疽病		
注意事項	条紋から発生する裂果・ひび割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。条紋多発園で散布する。		

●今後の管理について

* 雑草管理 …主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしておく。

バスタ液剤(収穫前日まで、3回以内)

10a 当り 水 100~150ℓに対し、バスタ液剤 500mℓ

* 見直し摘果…着果量が多い場合は、変形果などを中心に摘果しましょう。